



# TIAニュース

NO. 5 1993

編集・発行 財団法人 高松市国際交流協会  
〒760 高松市番町一丁目8番15号 高松市国際交流課内

## 姉妹都市親善研修生帰国報告

当協会では、姉妹都市のセント・ピーターズバーグ市とトゥール市においてホームステイや市民との交流などを通じて両市との友好親善を深めるとともに、市民の豊かな国際感覚の涵養を図ることを目的とし、市民から公募した姉妹都市親善研修生（各3名）を派遣しました。

セント・ピーターズバーグ市コース 1993年3月4日～16日  
トゥール市コース 1993年3月6日～18日



鋼鉄の鎧を着た傭兵が立っていそうなシャンボール城  
Chateau de Chambord. Reminding you of guards in armour.  
宛若身着盔甲士兵的圣欧班堡城

## フランス人の笑顔と挨拶 Smiles and Greetings in French style.

法国人的微笑与寒暄  
姉妹都市親善研修生 岩崎敬子・平田正・松谷紀美子  
Representative students, Keiko, Tadashi and Kimiko (Tours course)

1993年3月6日、私たち3名はフランスのトゥール市に向け出発しました。今回、岩崎（母親・女性としての教育・仕事感）平田（ヨーロッパ人の余暇の過ごし方）松谷（ヨーロッパの教育制度）と、それぞれがテーマに関する視察をし、また4日間フランス人の家庭でホームステイすることにより友好を深めるためです。

各自、出発する前から緊張気味で、フランス語を復習し、フランスの教育制度を調べたり、ヨーロッパの景気低迷・失業率・移民問題等について雑誌や新聞で調べたりしていましたが、結局は、ホームステイの受入れの方の講演会で講師が「たとえ言葉は通じなくても真心は伝わり、固定観念に縛られることなくいろんな視点から見て欲しい」と、言われた言葉を思い出し、3人でできるだけ多くの人とふれあい、多くの経験をすることにしました。

まず、パリでの美術館巡りは、本当に素晴らしい美術品の鑑賞ができ、3人とも興奮気味でした。フランスは古いものを大切にすることが強く、彫刻が多い石の文化なので、日本の様に街の中に地下駐車場を作れないせいで、道路に駐車している車が多く、道が狭く感じられました。また、国民性

の違いからか、信号が赤でも横断歩道を渡る人が多いのには驚きました。

パリから新幹線のTGVに乗ると55分でトゥールに着きます。トゥールでは仏日協会の方が、3人のテーマに合わせて、市内の幼稚園、高校、トゥレーヌ甲南学園、トゥール大学、オートキャンプ場、ヴーヴレのワインカーブ（酒蔵庫）等を選び、案内していただきました。また、ワインカーブでの仏日協会の交流会は、伝統的な服装と歌で迎えられ、楽しいものとなりました。トゥールはパリとは雰囲気も異なり、街全体に花が多く、温かみを感じられ、仏日協会のチュルパン会長、ジャメ様にご一緒していただいたので、言葉は通じなくても、フランス人の真っただ中にいるという感覚がありました。

4年前に創立されたヴォーニカンソン高校の校長先生は、フランスの教育制度や高校生の悩み等、だんだん顔が紅潮するほど熱心に説明してくれました。高校内の施設、特に身障者用の設備は素晴らしく、国の方針として作るのが決まっているそうです。校内の清掃は行き届いていましたが、生徒がするのではなく、専門の業者に任せているのが、日本と異なっていました。

いよいよ、期待と不安のホームステイです。ステイ先ではフランス語だけしか話されない方もおられ、いろいろ失敗談もありましたが、各家庭は本当に親切で、心配な事を伝えると「No problem!」と言って明るく相談に乗ってくれ、ほっとすることもありました。私たちが、日本や高松のことを紹介するために持参した写真を説明すると非常に興味をもって話を聞かれ、質問攻めにあったときは、言葉がなかなか通じず、四苦八苦しました。フランスの方は個人を尊重し、様々な話をされるので、自分の考えていること、感じたことをうまく言葉で伝えられないときは残念に思いました。

研修を終え、一番印象に残っているのは、トゥールの人々の笑顔とフランス式の挨拶をされたときの頬の温かみです。そして仏日協会のご好意で郊外の古城をヘリコプターから見学できたことは、新聞にも掲載され、今回の研修は思い出多いものとなりました。私たち3人は13日間の研修において、自分の目で見、感じたことを、これからは少しでも多くの人に伝え、また、家族ぐるみでホームステイの受入れをしようと思います。

## Vue de la cité De Takamatsu à Tours avec passion



Une belle initiative japonaise s'apparente à survenir à Toursville avec Lucienne Turpin, présidente du Franco-Japonais-Tourain.

À Paris, dans le quartier de la Sorbonne, pour un atelier de rédaction de la revue "Le Japonais à Tours", Lucienne Turpin, présidente du Franco-Japonais-Tourain, a invité une délégation de trois étudiants japonais de Takamatsu. Ils ont été accueillis par elle-même et par son mari, Jean-Louis Turpin, directeur de la revue. Les échanges ont été très enrichissants et ont permis de mieux connaître la culture japonaise et de renforcer les liens entre les deux pays.

地元新聞に載りました。  
"We bre in the newspaper"  
登上了当地的报纸!

## あたたかな人・風土を実感 —セント・ピーターズバーグ市発—

Warm heart in warm climate in St. Petersburg

热情的人们・美丽的风土—发自圣彼德斯堡市—

姉妹都市親善研修生 金谷真実子・近藤雅美・山神千秋  
Representative students, Mamiko, Masayoshi, Chiaki (St. Petersburg course)

私たちは国際理解と国際感覚を養うとともに、友好親善を深める目的で、アメリカ合衆国フロリダ州セント・ピーターズバーグ市を訪れました。

今回の研修では、まず、セント・ピーターズバーグ市でホームステイや視察研修を行い、その後、オーランド、ワシントンD.C.そしてニューヨークの4都市を視察見学しました。

セント・ピーターズバーグ市最初の朝、まず、市長を表敬訪問しました。市長に高松からのお土産品として民芸品の保多織のタペストリーをお渡しすると大変喜んでいただき、市長からは、虹とペリカンのデザインの美しい市章をいただき、早速つけて市役所内を案内していただきました。

市内では、各人が出発前に考えた視察研修テーマに添って、警察署、小・中学校、地元の新聞社等を訪問しました。視察先では、あらゆる形でコンピューターを導入しており、なかでも市の交通関係部署では、信号機を制御して交通混雑を緩和するシステムが効果を上げていることに大変感動しました。また、二番丁小学校の姉妹校でもあるマキシモ小学校では POD — SYSTEMというクラス間の仕切りのない開放的な教育方法を実施しており、日本とは全く違った観点から教育を考えている



二人羽織おおいにつける！  
A show Ninin-haori "invites standing applause!"  
双人游戏，大受欢迎！



また、お会いしたいセンピーのやさしい人たち  
Amiable people we miss.  
和蔼可亲的圣彼德斯堡人

ことに驚きました。ここでの研修成果は、この土地の一年中暖かて穏やかな氣候や、美しい街並み、ゆったりとした風土とは違う進んだ技術・システムを見学することができ大変参考になりました。

また、同市での最後の夜は、お世話になった各ホストファミリー、市の関係者および国際交流のボランティアの方々と市内のホテルで交流会を持ちましたが、高松の民芸品の紹介や相撲・空手の紹介、歌や伝言ゲームなど楽しい余興で盛り上がり、交流を深めることができました。あつという間でお別れの時間がきてしまい、ホストファミリーやお世話になった人々への感謝の気持ちとこれでもうお別れなんだという少し寂しい気持ちとで複雑な心境になりました。

この研修に参加して、出会った人々は大変親切でフレンドリーな人ばかりでした。国際交流の場を通して多くのことを知り、多くの人たちと出会え、日本では味わえない貴重な体験ができたことを私たちは感謝し、今後、ますます国際交流活動を深めるように努力したいと思います。

最後に研修中、お世話になった大勢の方に感謝いたします。大変ありがとうございました。

## サンシャイン・シティの子供たち

Young kids in Sunshine City.

姉妹都市親善留学生 岡野愛子  
Representative student, Aiko Okano (St. Petersburg)

「ハイイ」という元気な子供たちの声に迎えられ、アメリカ合衆国フロリダ州セント・ピーターズバーグ市にあるマキシモ小学校を訪れました。姉妹都市親善留学生として3ヶ月間ホームステイをしながらエッカード大学内にある英語学校ELSに通学し、その期間中に、様々な行事に参加したり、市内の病院や老人ホームなどの施設を見学しましたが、公立の小学校への訪問は私が最も楽しみにしていたものの一つでした。

日本を出発する前からその小学校で日本について紹介をしたかったので、マキシモ小学校の姉妹校である二番丁小学校と付属高松小・中学校の先生方に協力していただき、小学校の授業、給食や掃除の様子、中学校の体育祭、文化祭の様子などをスライド写真に撮って持っていきました。その他に高松の町並み、商店街、デパート、神社、美しい瀬戸の海の写真なども用意して、子供たちに、テレビなどからは知ること



さやと呼ばれるマキシモ小学校の教室  
A class called "Pod", Maximo Primary School  
Maximo小学的“豆荚”教室

のできないできるだけありのままの日常を紹介したかったのです。

マキシモ小学校の校舎は平屋建てです。その内部は一つの空間になっていて、壁に囲まれた部屋としての教室は存在せず、低い本棚によって分けられたスペースが教室にあたります。このような教室のことを「オープン・クラスルーム」またはえんどうさやのように外枠は一つで中がいくつか区切られていることから「POD (さや)」と呼んでいるそうです。

開放的でとても明るく楽しい感じを受けました。

スライド授業として私が日本の紹介をしたのは、10、11才の5年生のクラスでした。日本で制服を着ている小学生を見慣れていたために、様々な髪、肌、瞳そして服の色がとても新鮮に見えました。彼らは最初から、遠い国・日本から来た私に興味津々の様子で、じつとこちらを見つめていました。まず、自己紹介をし、早速スライドの上映を開始しましたが、彼らと同じ小学生の学校生活には特に好奇心を示し、スライドの間にも質問攻めにあつて、なかなか次に進めないほどでした。給食のメニューは選べるのか、みんな箸で給食を食べるのか、制服は誰が買うのか、体育の帽子は何のためなのか、と。高松では大抵徒歩で通学できるためにスクールバスがあまりないという話には「いいなあー。」とため息。中学校の組み立て体操の写真には「すごーい。きれい。」と歓声が上がりました。子供たちの素直で率直な感想や質問は、私たちが当然のことと感じていた日常生活を改めて見直す機会を与えてくれました。時間が限られていたために、子供たちが矢継ぎ早に繰り出す質問のすべてには答えきれなかったのが残念でありませんが、彼らが私の話を身を乗り出すように聞いてくれたことがとても強く印象に残っています。

帰る際「さよなら。おもしろかったよ。また来てね。」と、手を振ってくれた子供たち。後ろから照れくさそうに寄つて

きて「わたし、あなたのこと好きよ。」と言ってくれた女の子。彼らのことは、決して忘れることのできない思い出です。

将来この子供たちが成長していくうちに、日本について、高松について、何か興味を持ち、一層交流が深まるようになればよいと考えています。

素敵な子供たちとの出会いを作ってくださった先生をはじめ、セント・ピーターズバーグ市でお世話くださった人たちに心より感謝し、また、これからも美しい街セント・ピーターズバーグ市と高松市の素晴らしい交流が一層続いていくことを願っています。

(岡野氏は姉妹都市親善留学生として3か月間、セント・ピーターズバーグ市に滞在)



子供たちの人気者  
Popular among children  
深受孩子们喜爱的冈野爱子

## 皆さん、中国で一番大きい淡水湖をご存知ですか

Do you know the largest freshwater lake in China?  
你知道中国最大的淡水湖吗?

南昌市研修生 張 知明  
Zhang Zhi-ming, exchange government  
official from Nanchang



みなさん、こんにちは！私は高松の友好都市、中国の南昌市・外事弁公室というところで外国の都市との交流に関する仕事をしている張知明です。両市の地方自治制度や文化の理解を深め、また友好交流をさらに進めるために、昨年10月14日来高しました。今、高松市役所国際交流課で研修しています。よろしくをお願いします。

みなさんは南昌市を御存じですか。南昌市は、江西省人民政府の所在地で面積は7,400km<sup>2</sup>で、人口は360万人です。南昌は悠久の歴史を有しており、南昌の名は「南方昌盛」「昌大南疆」から取ったものと言われています。代々、県や郡、省の都であり、文化経済共に栄え、優秀な人材を輩出してきたところから、「物華天宝」「人傑地靈」と呼ばれています。また、南昌の市制施行は1926年のことです。

南昌は、川と湖に囲まれた緑豊かな田園都市で、鄱陽湖と呼ばれる中国で一番大きい淡水湖があります。面積3,914km<sup>2</sup>で琵琶湖の約6倍の広さです。水かさの増す時期には5,000km<sup>2</sup>を超えます。ここには、鯉、青魚、桂魚などの魚のほか、えび、かになどいろいろな生き物があります。レストランの料理人はここで獲れた魚を利用して、様々な種類の料理を作ります。料理方法はたくさんあり、例えば蒸したり、炒めたり、また、味つけには醤油やねぎや生ガを使い、とてもおいしいです。中国の魚料理は見た目にもきれいですよ。また、鄱陽湖では、中国でここだけにしかない珍しい草があり、料理人はこの草を材料にして様々な料理を作ります。

日本は海に囲まれ、たくさんの島々がありますが、南昌に

は海や小島はありませんので、新鮮な海の魚を食べることは難しいです。刺身料理は全くありません。日本に来る前に、日本人の友人とおしゃべりしたときによく日本の刺身料理が話題となり、その話を聞いたときには刺身料理の種類は非常に多く、おいしそうに感じました。生の魚を食べたことがありませんでしたので、本当に一度食べたいと思っていましたが、南昌ではなかなか刺身料理を食べることができません。私は高松に来て、日本料理店に入ったとき、まず、刺身料理が目に入りました。見たときは大変きれいでおいしそうに感じましたが、食べてみて、残念ながらあまり好きになれませんでした。一切れ食べただけです。でも今は高松に住んでもう5か月になりますので、刺身をだんだん好きになってきました。日本の生活に慣れるのはそんなに時間はかかりませんでした。

鄱陽湖は、景色もとても美しいところです。春になると周辺には、美しい花が咲きます。冬は水が少なくなり、魚を求めて鳥がたくさんやってきます。毎年ロシアから様々な鳥が飛んできます。白鳥、鶴、白濯鳥等が、この湖で魚を取ったり、遊んだりして楽しく過ごしています。絶滅寸前のソデグロヅルの姿も見ることができます。美しい鄱陽湖に様々な鳥たちが飛び交い、遊ぶ姿は見る人の心を捕らえて離しません。このため、毎年大勢の人が見物に来ますが、一昨年には英国、

オランダの女王や御夫妻が、見に来られました。私は鄱陽湖の景色が大好きです。ぜひ、美しい南昌の鄱陽湖へいらしてください。楽しみに待っています。



鳥たちのサンクチュアリー、鄱陽湖  
Poyang lake, sanctuary to wild fowl  
鸟类禁猎区 鄱阳湖

大家都来学点赞岐方言

讃岐方言给许多外国朋友学习日语带来不便。  
今后我们将在此栏介绍一些具有代表性的讃岐方言。

- 1 讃岐方言「よーけ」  
標準語 「たくさん」  
意思＝数量多  
例＝(讃) みかんがよーけあった。  
(標) みかんがたくさんあった。

(中) 桔子很多。

- 2 讃岐方言「おなかがおきる」  
標準語 「おなかがいっぱいになる」  
意思＝肚子飽了。  
例＝(讃) おなかがおきました。  
(標) おなかがいっぱいになりました。

(中) 吃饱了。

- 3 讃岐方言「わや」  
標準語 「めちゃくちゃ」  
意思＝不合道理、乱七八糟。  
例＝(讃) 部屋がわやや  
(標) 部屋がめちゃくちゃ

(中) 房间搞得乱七八糟。

- 4 讃岐方言「なんしょんなー」  
標準語 「何をしていますのですか」  
意思＝你在干什么

通知

我协会实行国际交流义务活动员登记制度。现拥有许多可以接收“家庭住宿”和“家庭访问”的会员。如有希望和日本人交朋友，希望访问日本家庭的国外朋友，请与我协会联系。

家庭住宿(Home stay)制度  
接收外国朋友来家中进行一宿二天的友好交流。

家庭访问(Home visit)制度  
接收外国朋友来家中进行2~3小时的友好交流。原则上，不提供饭和住宿条件。

访问时应避开吃饭时间。

讃岐弁を学ぼう！

讃岐(さぬき)とは香川県の旧名です。この地域で話される方言を一般的に讃岐弁と呼んでいます。

在住の外国人が日本語を学ぶ上で、讃岐弁が障害になることがあります。これからこのコーナーでは代表的な讃岐弁を紹介します。

- 1 讃岐弁「よーけ」標準語「たくさん」  
意味：数量の多いこと  
例文：  
(讃) みかんがよーけあった。  
(標) みかんがたくさんあった。

- 2 (讃)「おなかがおきる」  
(標)「おなかがいっぱいになる」  
意味：満腹になる  
例文：  
(讃) おなかがおきました。  
(標) おなかがいっぱいになりました。

- 3 (讃)「わや」  
(標)「めちゃくちゃ」  
意味：めちゃくちゃ(筋道がたたない意を含む)、乱雑、汚れている  
例文：(讃) 部屋がわやや  
(標) 部屋がめちゃくちゃだ

- 4 (讃)「なんしょんなー」  
(標)「何をしていますのですか」  
意味：何をしていますのですか

お知らせ

当協会には、国際交流ボランティア登録制度があり、たくさんの方にホームステイ、ホームビジットの受け入れ家庭として登録していただいています。在住外国人の方で、日本人と友達になりたい、日本の家庭を訪問してみたいと思われる方は、当協会までお問い合わせください。

◎ホームステイ制度

外国の方を1泊2日程度家族の一員として受け入れ、親善交流を深める。

◎ホームビジット制度

外国の方を2~3時間程度、家庭に受け入れ、親善交流を深める。原則として昼食や夕食の時間帯を避け、食事や宿泊の提供はしない。

Let's learn Sanuki dialect !

Sanuki is the old name for Kagawa prefecture. To this day the dialect spoken in this area is called Sanuki-ben.

For foreigners living in Takamatsu, this Sanuki-ben may create obstacles to mastering the Japanese language. So, we would like to gradually introduce you to some common Sanuki-ben terms in this section with each publication.

- 1 Sanuki-ben:YOUKE  
Standard Japanese:TAKUSAN  
Meaning: a lot of, many, much  
Sample sentences:  
Sanuki-ben: Mikan ga youke atta.  
Standard: Mikan ga takusan atta.  
Translation:  
There were a lot of oranges.

- 2 Sanuki: Onaka ga okiru  
Standard: Onaka ga ippai ni naru  
Meaning: for your stomach to become full  
Sample sentences:  
Sanuki: Onaka ga okimashita.  
Standard: Onaka ga ippai ni narimashita.  
Translation:  
My stomach is full.

- 3 Sanuki: WAYA  
Standard: MECHAKUCHA  
Meaning: a mess, jumbled, incoherent  
Sample sentences:  
Sanuki: Heya ga waya ya.  
Standard: Heya ga mechakucha da.  
Translation: The room is a mess.

- 4 Sanuki: Nanshon na?  
Standard: Nani o shiteiruno desuka?  
Meaning: What are you doing ?

Invitation to a worthwhile experience.

Friends from abroad:

How do you like to make friends with local Japanese by visiting their homes?

Well, we have a lot of them registered here who are willing to invite you to their homes and enjoy your company.

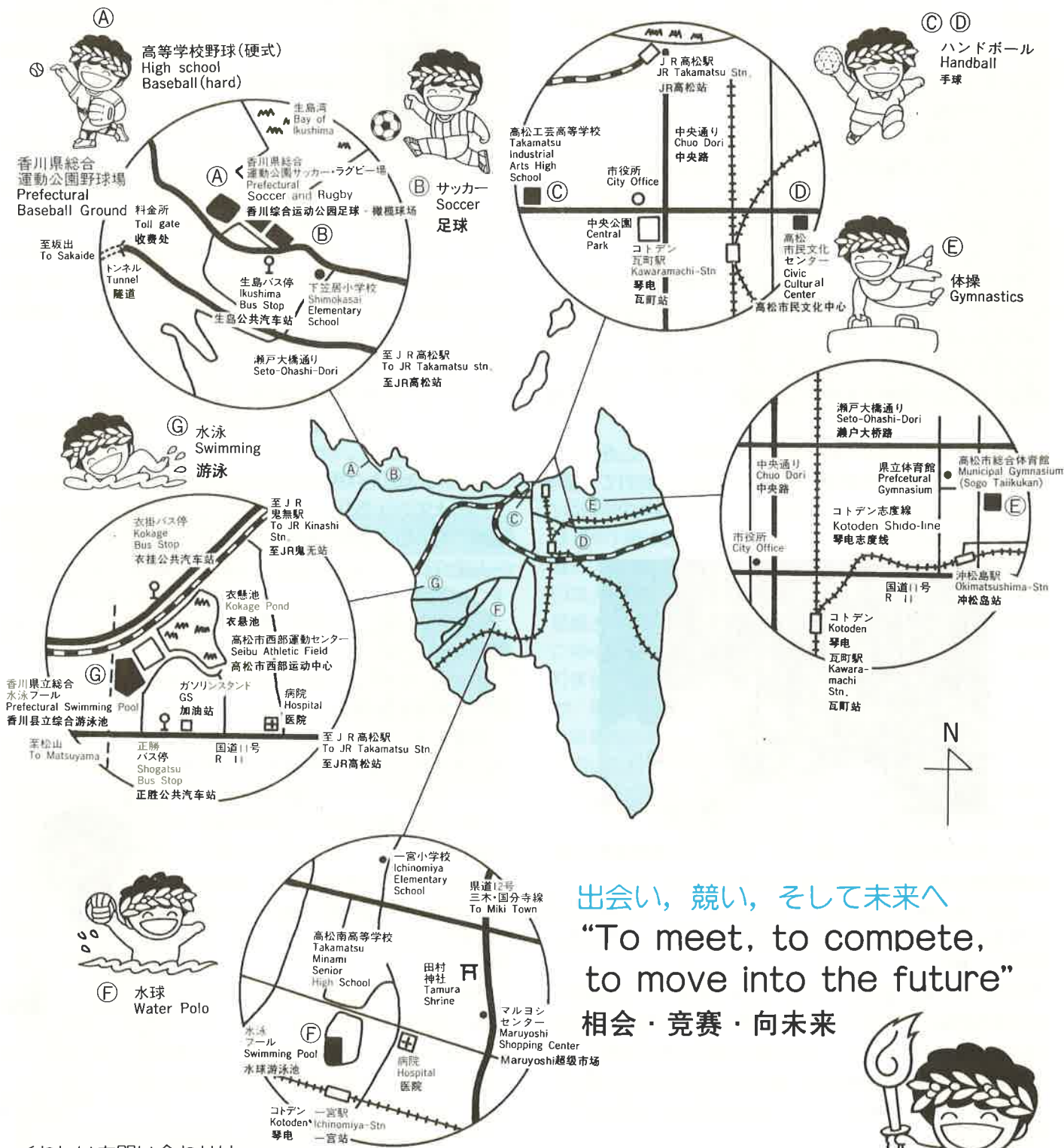
You can visit them either for a couple of hours or stay with them overnight. Personal contact is the best way to know people. Of course a little language will go a long way.

If you are interested in this program, why not call us immediately. TEL 39-2197

# 国体へ行こう LET'S GO TO THE "KOKUTAI"

让我们一起去看国民体育大会!

会場への行き方 How to get to the place. 会场交通指南



出会い、競い、そして未来へ  
 "To meet, to compete, to move into the future"  
 相会・竞赛・向未来



オリーブくん  
Olive Boy  
橄欖君

くわしいお問い合わせは  
 香川県国体事務局  
 〒760 高松市亀岡町1-4  
 電話 (0878) 37-0422  
 Fax (0878) 37-0442

Kagawa Prefecture  
 National Sports  
 Festival Secretariat  
 〒760 Kameoka-cho 1-4, Takamatsu  
 ☎ (0878) 37-0422  
 ☎ Fax: (0878) 37-0442

详细问题请与香川县  
 国体事務局联系  
 〒760 高松市亀岡町1-4  
 电话 (0878) 37-0422  
 Fax (0878) 37-0442

◇For further information about the Eastern Shikoku National Sports Festival:

## 第2回国際井戸ばたサロン(アジアの日)

「アジアの人とゆっくり語ってみよう」を合言葉に中国、フィリピン、ネパール、香港、イスラエル、フィジー、タイ、インドネシアなど17人の留学生の参加のもと、3月2日南新町のトリートホールで2回目の国際井戸ばたサロンを開催しました。

まず、香川大学留学生の郭雲睿さんから中国の女性についての話を流暢な日本語でユーモア交じりにしていただき、特に、日本の男性にとってはとてもためになるものでした。

次に県海外技術研修員として仏生山の農業試験場で研修中のジット・B・グルングさん=ネパール=に母国の様子を話していただきましたが、ジットさんの誠実な人柄がよく伝わりました。

続いて、フィリピンからの県海外技術研修員のロジャー・G・ドローサさんが自国で話題になった環境問題の歌を歌ってくれました。そして、香川大学大学院で勉強している連仲友さんの弾く胡弓(中国の代表的な民族楽器)に合わせて趙貴生さんが中国の歌を披露し、哀愁を帯びたその音色と歌に参加者は異国への想いにひたっていました。

最後に、参加者は自己紹介を兼ねた簡単なゲームを楽しみながら、お互いに打ち解け、各テーブル毎に分かれて、留学生らの母国の話に熱心に耳を傾けるとともに日常の生活などを話し合い友好を深めました。



タイの話に熱心に耳を傾ける参加者たち  
All ears to know about Thai 引人入胜的泰国之谈

◎郭雲睿さんの話の内容は次のとおりです。

・中国では主婦でもほとんどが仕事を持っているため、日本の専業主婦という言葉を専門の職業を持っている既婚女性と間違っ

て翻訳してしまっただ。中国では女性は結婚しても姓名は変わらず、自分の実家の姓名を引き継ぐ。子供はどちらの姓を名乗っても良い。祖父田同居の家庭だったら3~4つの姓があるときがある。これは結婚した女性の独立性を保つ意味もあるが、今まで育ててくれた実家の親との絆として、みんなが大切にしたいのではないだろうか。

・中国には女性が天(社会)の半分を支えるという言葉がある。確かに女性が様々な分野に進出している。同一労働、同一賃金の政策が実施されているので、仕事をしながら、夜間大学などで勉強し、さらに重要な職場、部門を目指して頑張っている女性も多く、また、年齢・結婚の有無に関係なく外国に留学や研修で出ることも多く、国によって、女性に対する考え方も異なるので、誤解されることがある。例えば遠くに離れていても家族との絆は強くお互いに理解し合う努力をしているので、このことを交流を通じて分かってもらいたい。

・中国では一人っ子政策を実施している。夫婦共同で家事と

## International Tea Time (Asian Day)

国際交流沙龙(亚洲日)



香川大学留学生  
郭雲睿さん(中国)  
Guo Yunrui, Chinese student in Kagawa Univ.

子供の教育をするのは当たり前のことで、男性もよく家で料理を作ったり、洗濯したり、子供の世話をして妻に協力する。このような男性の協力が中国女性にとって結婚・子供の問題に直面しても勉強や仕事ができる重要な原因の一つではないか。

・「不客气」(遠慮なく)という言葉が中国女性に対して使われることがあるが、

これは幼いときから男女は平等で自分を積極的に主張する教育を受けているため、女性もよく遠慮なく自分の考えをは

っきり言うことが多い。そのため中国の女性をきつく感じるかもしれないが、お互いに遠慮なく話すことにより、理解がより深まり、本当の交流も始められると思う。

◎ジットさんの話の内容は次のとおりです。

・ネパールでは農業推進の分野の仕事をしている。

・ネパールは北は中国のチベットに接し、他はインドに接している。

・ネパールは①ヒマラヤ②丘と山③低地の3つに分かれる。人口の大部分は②の丘や山の地域に住んでいる。山には交通機関がないので徒歩に頼るしかない。

・ムスタン(MUSTANG)と呼ばれる典型的な村がある。そこはネパールの出入口で、冬以外は歩いて中国へ行ける。

・川は電気を作るのにとっても役立ち、鉱物資源も多いが、経済状態がよくないため生産できない。

・釈迦はインドに近いルンビニー(LUMBINI)で生まれた。多くの人が釈迦を信じている。

・季節は夏、冬、春、秋、初夏、初冬に分かれ、夏はとても気温が高く、低地では雨が多い。春と秋が登山に一番良い時期で、外国からも多くの登山客が来る。

・18以上の言語があるが、主な言語はネパール語。

・民族によって宗教も違うが、80%の人がヒンズー教を15%が仏教を信仰している。他の5%はキリスト教、イスラム教等である。

・首都はカトマンズで、寺院が多いため「国(町)の寺」と呼ばれている。

・10月にダサイ、11月にティハールと呼ばれる大きな祭りがある。多くの人は神を信じている。

・ネパールは農業国で、93%の人が農業に従事しており、米、小麦、大麦、オート麦それに野菜や果物を作っている。そのほか綿、さとうきび、からし、お茶、たばこを生産している。山地での農業は低地に比べて寒さと水不足のため生産性がとても悪く、常設の灌漑施設もなく山地での農業はまさにギャンプルだ。

・ネパールは砂糖、綿、茶、工芸品を外国に輸出し、観光は国の主な収入源になっている。

・高松の皆さん、ネパールへ登山に来て美しい自然に触れてください。



県海外技術研修員  
ジット・B・グルングさん(ネパール)  
Jit B. Gurung, student from Nepal  
(尼泊尔)

## 国際交流団体・ボランティア・研修生交流会

2月27日(市内のホテルにおいて)'93国際交流団体・ボランティア交流会を開催しました。日頃から草の根の国際交流団体の方々やボランティア登録者のみなさんがお互いに情報交換を行うとともに、中国からの企業研修生と交流を図るための初めての催しに、外国人の企業研修生22人、日本人52人が参加しました。

まず、民間の交流団体「仏生山国際交流会」と「さぬきつ子地球クラブ」がそれぞれの活動状況を報告。

その後は参加者が自由に意見発表を行ったり、自分の所属する団体をPRしたりしました。

続いて中国・南昌市の研修生 張知明さんにスライドの上映も交えて友好都市の話をしていただきました。

次に、二人の企業研修生から高松に住んでみての感想をお聞きしました。

さらに当日参加している企業研修生全員に簡単なインタビューをして交流会の部を終了し、会場を移動して交流パーティーに入りました。日頃から横のつながりの少ない交流団体

Exchanging ideas to improve friendships.

国際交流団体・义务交流員・研修生交流会

やボランティアのみなさんはお互いに苦労話や経験談を交換したりして会場は和やかな雰囲気になりました。



高松の感想を研修生に直撃インタビュー！  
Impressions of Takamatsu

“高松の感想如何?” 采访研修生

## 外国人観光客の素敵な 思い出づくりをお手伝い！

本日は、1986年JR高松駅前にオープンして以来多数の観光客に利用されている高松観光案内所にお伺いして、最近の観光客の動向などを聞いてみました。

### ・最近高松を訪れる外国人の傾向は？

ーオープンした当時と比べると日本語を話される外国人の人たちが多くなりました。数は米国人が断然多く、最近では韓国の方が増えました。

### ・どんな要件で観光案内所へ来られる人が多いですか？

ーほとんどが英文マップが欲しい、また栗林公園などの観光地へ行く方法や高松に住んでいる外国人の人たちが高松から本州や九州などへ行く方法を尋ねる人が多いです。

### ・観光案内所にはどんな資料を置いてありますか？

ー高松市が作成した英・韓・中・仏・独・西語のパンフレットや英・韓国語のリーフレットそれに私たちが作成した駅前のバスのりば案内・屋島のふもとの英語案内です。

### ・外国の方にとってどこの観光地が特に人気がありますか？

ー栗林公園、屋島、四国村ですね。

### ・観光案内所の開館時間を教えてください。

ー午前9時から午後5時までです。

### ・休日はありますか？

ー1月1日から3日までの3日間だけです。

### ・1年間でいつ頃が観光客が多いですか？

ー7・8月頃が特に多いです。

### ・最近外国人からユニークな質問はありませんでしたか？

ー一家にきた日本語のハガキが読めないのを読んでくださいというのがありました。

ー電話が止められて困っているという苦情も。

ーどこでヒッチハイクができるか。ヒッチハイクの目的地を日本語で書いてください。(広島からやってきた人)

We are helping foreign tourists enjoy  
Takamatsu

给外国旅游者创造一个美好的回忆。



笑顔でメイ・アイ・ヘルプ・ユー？  
高松市観光案内所の篠邨さん(左)と山白さん  
'May I help you?' with a smile.  
Shinomura (left) & Yamashiro  
Takamatsu Tourist Information

“能为您做什么?”  
高松市観光导游所的小篠(左)和山白(右)

ーJRバスの乗り放題で上手に旅行する人もいる。

ーアパートを探しているという人がくることも。

ー英会話の学校で英語を教えたいのでもいいところがないかという人も。

### ・日本人観光客と違うところはありますか？

ー外国人観光客に共通して言えることは待つときに必ず列を作って、割り込みもせず静かに待っているということですね。とにかくマナーがいいです。

### ・最後に観光案内所のPRをしてください。

ー毎日わたしたち2名のスタッフが交代で外国からこられる観光客の素敵な思い出づくりのために案内させていただいています。



## 協会の平成5年度事業計画の概要

### ○海外の諸都市との国際交流事業

姉妹・友好都市をはじめ、海外諸都市との間で、親善使節や研修生等の交流を行うなど、相互理解と友好親善を深めます。

また、姉妹・友好都市を身近に知ることのできる機会として、姉妹・友好都市交流のつどいを開催します。

### ○市民の国際交流活動に対する支援

国際交流ボランティアの登録と活用を図るとともに、ボランティア活動に必要な知識や技能を習得する機会としてボランティア研修会を実施します。

また、国際交流事業に対する後援および事業費の助成を行うほか、国際交流団体等と共催でスポーツのつどいやキャンプのつどいを開催します。

### ○講演、講座、派遣研修等の実施

国際交流のあり方を探る機会として国際交流講演会（秋）や、市内の在住外国人を囲んで、母国の事情や日本（高松）に対する意見などを聞き、意見交換を行う国際井戸ばたサロン（冬）を開催します。

また、基礎的な日本語の日常会話を学ぶための日本語講座を開設します。（半年単位2期）

一方、次代を担う中学生が豊かな国際感覚を身に付けられるよう、中

学生海外親善使節団を中国の友好都市南昌市などに派遣（来年の春休み）



昨年の国際交流ファミリーのつどい  
（五高館より）

するとともに、隣国・韓国への理解と親善交流を図るため、青年訪韓親善使節団を派遣します。

○留学生、研修生等在住外国人の支援  
私費留学生に対し留学助成金を支給するとともに、留学生、研修生等が市民との交流を深めるために文化、スポーツなどの交流行事に参加できるように参加費の助成を行います。

また、在住する外国人が高松に対する理解を深める機会として、高松タウンウォッチング（秋）を実施するほか、在住外国人が市民とともに楽しめるよう国際交流連を編成し、高松まつりの総踊りに参加します。

### ○情報の収集及び提供

国際交流や姉妹・友好都市に関する図書、ビデオなどの各種資料の収集や関係事業の調査を行うとともに、協会ニュースを発行（夏、冬2回）するなど、情報提供に努めます。

## 国際交流基金への

## 寄附に対するお礼

協会の事業は、協会内に設置している高松市国際交流基金の運用から生じる収益金でもって実施しています。

この趣旨に賛同され、基金へ寄附をいただいた方々に、心からお礼申し上げます。

## 松下寿電子工業(株)

協会では、市民レベルでの国際交流の振興のため、国際交流基金への寄附をお待ちしております。

## 日本語講座受講生

## 募集中！

基礎的な日本語の日常会話を学びたい人を対象とした日本語講座の受講生を募集しています。

### ▽講座内容

クラス	①初級（英語対応） ②初級（中国語対応） ③中級
期間	5月7日～10月1日 15回 （途中、夏休み有）
時間	毎週金曜日 18:00～20:00
会場	高松市立市民会館（高松市役所西隣）会議室
講師	①安部 剛 ②毛 勇 ③長谷川 隆
定員	各15名

## 後援および事業費助成

当協会では、国際交流団体等が自主的に企画、実施する国際交流関係事業に対して、後援や事業費の助成を行っています。それぞれ所定の様式での申請が必要です。

事業費の助成は、同年度に同一団体が1回、事業費の3分の1以内（限度額20万円）となっており、助成対象経費の制約などがありますので、協会までご相談ください。

1993年3月 (vol. 5)

Takamatsu International Association  
財団法人 **高松市国際交流協会**

〒760 香川県高松市番町一丁目8番15号  
高松市役所7階  
TEL (0878) 39-2197  
FAX (0878) 39-2015

Takamatsu City Office 7F 8-15 Ban-cho 1-chome  
Takamatsu Kagawa

これからのイベントとお知らせ

## 国際交流スポーツ

## ジャンボリー

在住外国人や市民が、手軽にできる室内スポーツを通じて、交流を図ります。

期日：平成5年7月11日（日）

場所：亀水運動センター体育館

## 国際交流青年のつどい

在住外国人の市民の青年たちが、塩江の山中で1泊2日、キャンプや野外炊飯などをして共同生活をします。

期日：平成5年8月28日、29日

場所：塩江町

※詳しくは広報高松でお知らせします。